

様式 2

学校名（豊岡市立五荘小学校）

実施日：7月11日（金）2校時	
教科等：学級活動	
取組名：ネットでのトラブルについて自分事として考えよう 資料名：資料①「自分が同意していない画像をインターネット上に載せられたとき」 資料②「誘いを断っただけで、グループトークから外されたとき」 （『ほほえみ』令和4年度版）	
対 象：5年生	実施場所：教室
ア ねらい 無料通話アプリやSNS等による誹謗中傷やネットいじめの実態を知り、相手を傷つけないコミュニケーションのとり方を、自分事として考えることができる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートとして、自宅でタブレット端末や携帯電話を操作したことがあるか、SNSにはどのような媒体があるかを把握し、本時の中で具体例を出しながら状況の把握をさせる。 導入では、「全国のいじめの件数」「インターネット上でいじめの件数」のグラフを提示し、数が全体的に増加傾向であることを捉えさせる。 展開では、場面を提示しながら、「自分だったら」「もし、トラブルに巻き込まれてしまったら」と適宜問いかけを行い、自分事としてとらえさせるようにする。 後半では、トラブルにならない、巻き込まれないようにするためにどのような行動をとるかを考えさせ、具体的な解決策をクラス全体で練り上げていく。 	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 トラブルを避けるために自分にできること等授業の中で出た意見について、期末懇談会で保護者の方へ伝え、学校から出ている「夏休みのくらし」と関連付けながら、夏休み期間の過ごし方について、家庭で話をしてもらおうなどをしてもらう。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> Google フォームでSNS利用状況のアンケートを行い、結果の共有を担当と行った。 子どもたちが本時の学習を今後の生活に生かしているか、担任と情報を共有する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動への取り組み方 ・ 発表 ・ ふり返り 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から、「SNSで人を傷つけてしまった経験がある」と答えている児童が居り、本時の事例が他人事ではないと感じている児童がいた。 文字だけのやり取りでは、トラブルが起こりやすいことを理解している様子があった。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> 夏休み前の授業だったので、夏休み中のSNS利用の仕方についてフィードバックする必要がある。 閉鎖的な空間でのやり取りとなるので、「困ったことがあったら信頼できる大人に相談すること」の啓発を引き続き行っていきたい。 	